



平成28年度 第2回地域包括ケア推進会議

平成28年9月14日(水) 18:30～

文化センター4階

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 議 事
 - (1) 報告
(①中地域ケア ②3つの部会 ③各取組みの状況 ④総合事業)
 - (2) 協議：集いの場について
 - (3) 報告：情報発信～共有・見える化について
 - (4) その他
- 5 その他
- 6 閉 会

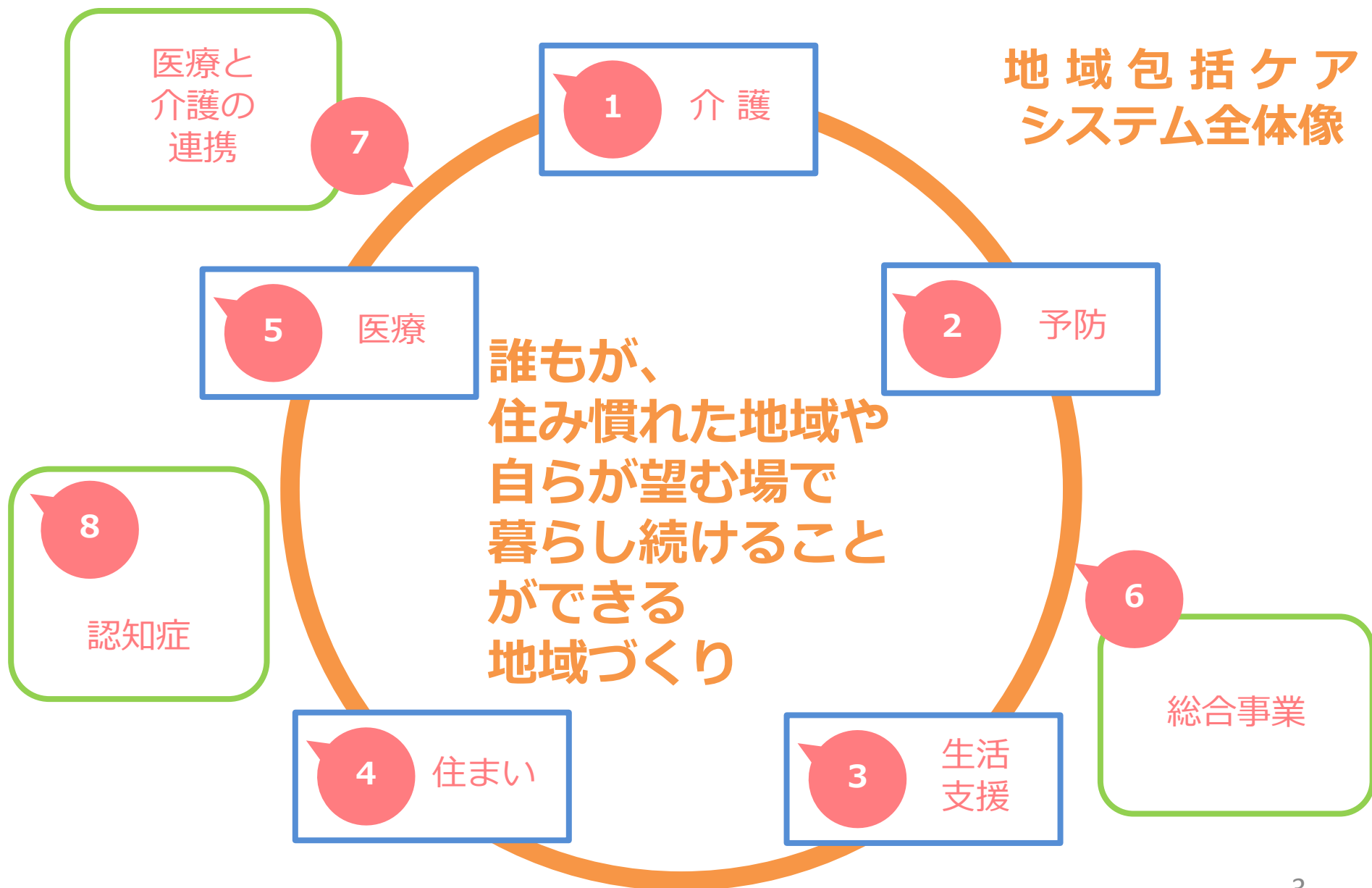


はじめに （前回のふりかえり）

- ・ 地域包括ケアとは
- ・ 目指す姿
- ・ 地域包括ケア推進会議とは



地域包括ケア システム全体像





基本理念：ひとりひとりが安心して自分らしく暮らせるまち いわき

ビジョン

- 1 健康寿命の延伸
- 2 地域包括ケアシステムの構築

基本目標

- 1 元気な高齢者が、いつまでも元気で生きがいを持ち、その能力を活かし社会に貢献できるまち
- 2 心身の健康に不安のある高齢者が、元気や活力を取り戻すことができる介護予防のまち
- 3 日常生活に支援の必要な高齢者が、必要なサービスを利用しながら住み慣れた地域で暮らすことができるまち

取組み の視点

1 医療と介護の連携強化

2 介護人材の確保と育成

3 高齢者の社会参画の促進

4 認知症対策の推進

5 生活支援サービスの強化

6 地域ケア会議の充実

7 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

8 サービス基盤の整備



私たちが目指す姿

誰もが、住み慣れた地域や自らが望む場で暮らし続けることができる まちづくり・地域づくり

「誰もが」とは……

高齢者だけでなく、
障がいのある方も、
子育て世代も、子どもたちも、
文字通り、「誰もが」です。

「まちづくり・地域づくり」とは……

保健医療福祉だけではなく、
教育や経済分野など、
様々な分野が関わるものです。

地域で、在宅で暮らすを、あきらめない。
地域で、在宅で暮らす「限界点を高める」

いわきの包括ケアとは、
「つながる・いわき」ということです。

支える側と支えられる側の垣根を低くする。

本人や家族の目線から見る

「小さく生んで、大きく育てる」
(スモールスタート)という考え方、
「小さな取組みを、広めていく」
という考え方で進めます。

必要に応じて、適宜、
改良・見直していきます。

そのために、
「つながる」

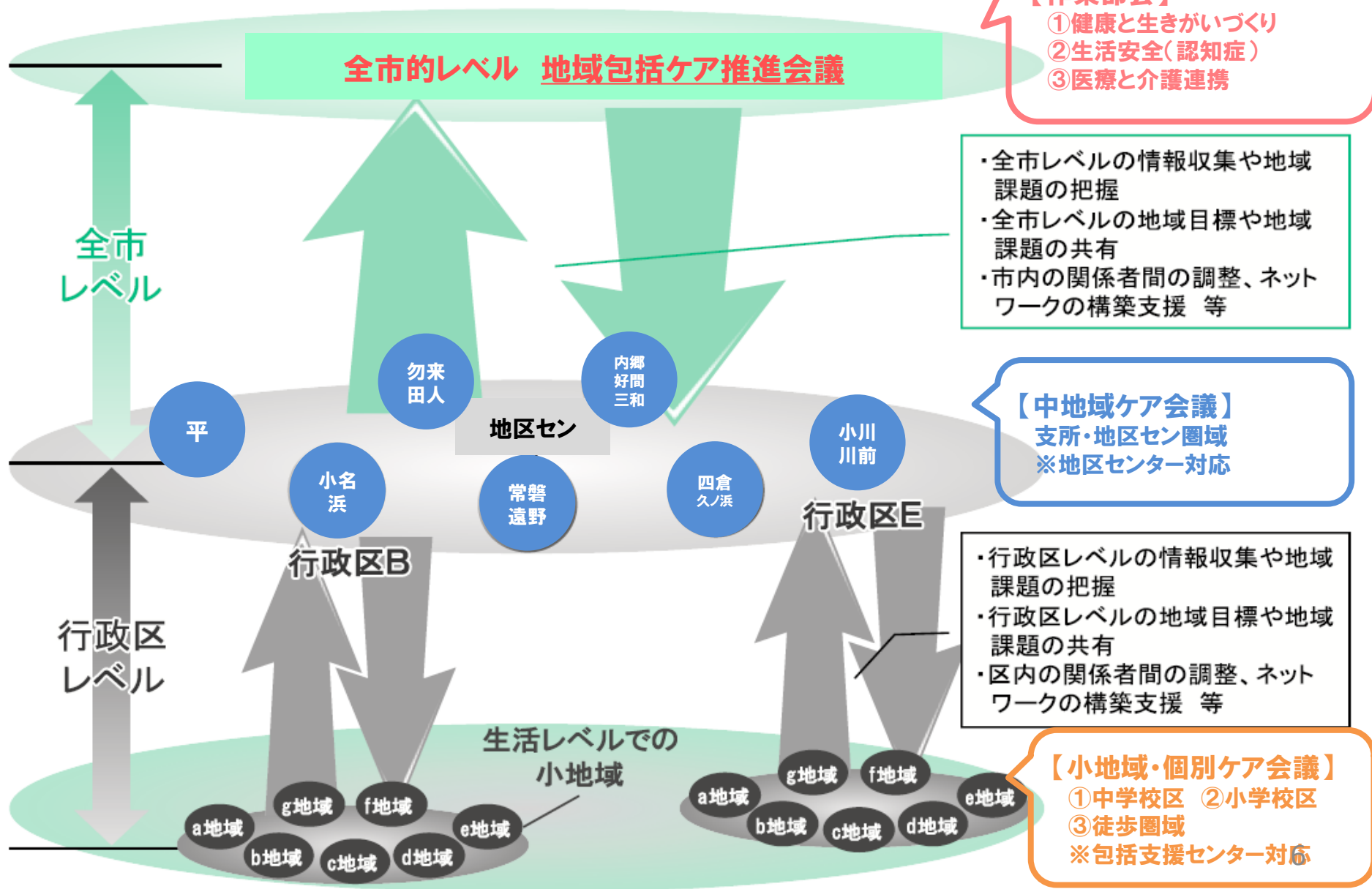
共有
・
顔の見える
関係

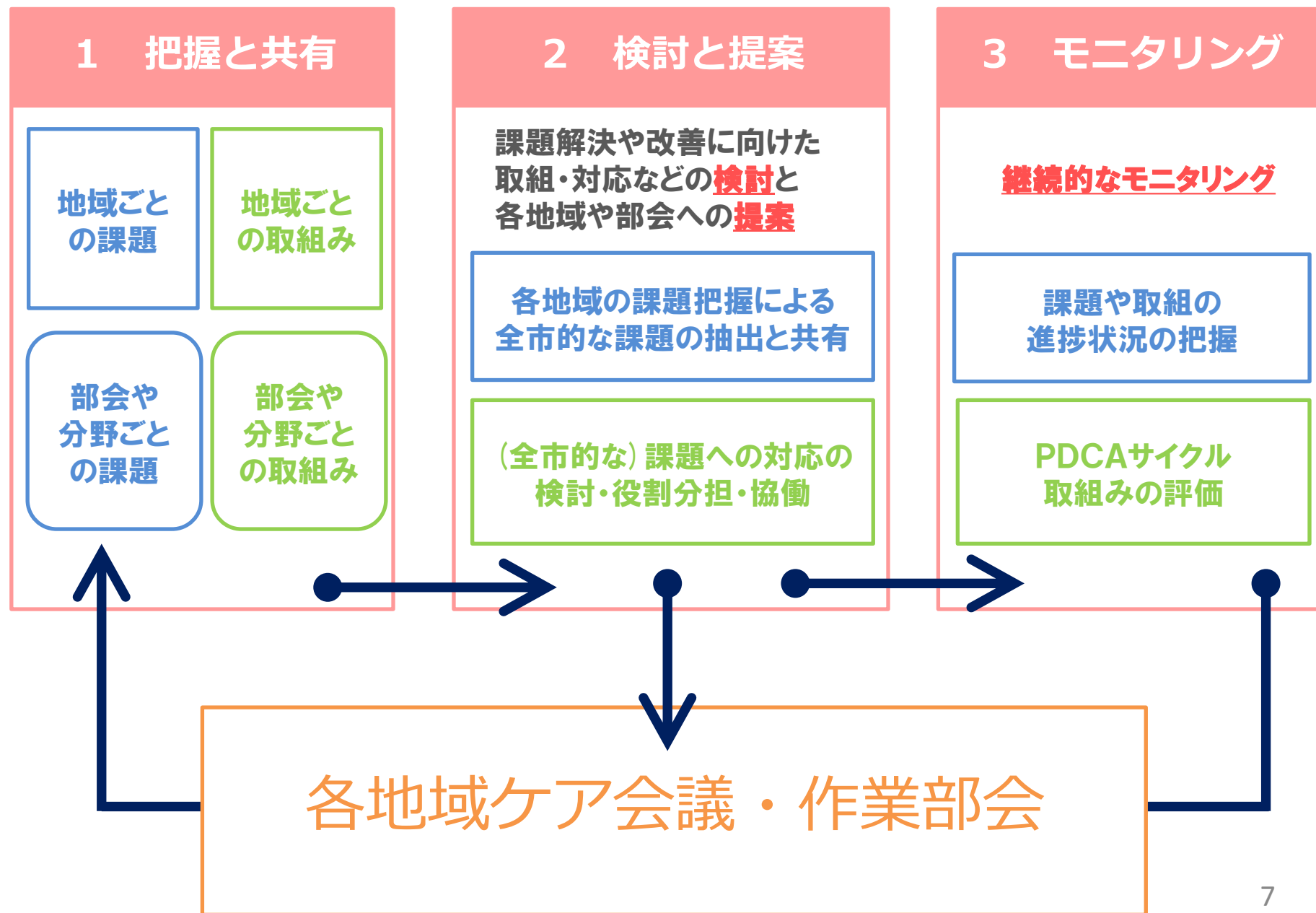
つながる
ために、

情報発信
・
見える化



図表 階層的なマネジメント体制の構築（イメージ）







4 議 事

(1) 行政からの報告

①中地域ケア会議

② 3つの部会

③総合事業

(2) 集いの場について

(3) 情報発信～共有・見える化について

(4) その他



① 中地域ケア会議 開催状況

※青字は開催済、赤字は今後の予定
※詳細は、別添資料1-①参照

小名浜
第1回
6/22

内郷・好間・三和
第1回
8/2

小名浜
第2回
9/7

勿来・田人
第2回
11月頃

四倉・久之浜大久
第2回
1月頃

四倉・久之浜大久
第1回
6/22

勿来・田人
第1回
8/18

小川・川前
第1回
9/21

小名浜
第3回
11/30

常磐・遠野
第2回
2月頃

平
第1回
6/23

常磐・遠野
第1回
9/1

平
第2回
10月頃

内郷・好間・三和
第2回
1月頃

小川・川前
第2回
2月頃



① 中地域ケア会議及び各地域における主な動き・取組み

ア)各地域での医療・介護に係る学習機会（医療介護学校・〇〇塾・小川寺子屋、講演会など）

前回（7/6）での木村先生による
「医療介護いわき学校」の提案が、
各中地域ケア会議に広まり…



中地域ケア会議で「医療介護いわき学校」（仮称）を展開する提案

いわき市医師会副会長 木村守和

趣旨

医療福祉は地域社会の安全保障ですが、いわき市では医療介護資源が不足しており、住民一人ひとりがそのことをよく知り医療介護を支えていかなければなりません。

住民には地域で標準的な医療を受けることができるという基本的な権利があると同時に、自分自身と家族の健康管理、治療参加、そして社会的共通資本としての医療の適正使用は住民の義務です。

「住民こそ地域の健康を守る資源である」を合言葉に、互いに学び、支えあい、健康を守る人材を育成するための「医療介護いわき学校」（仮称）を開催することをいわき市医師会理事会で決定しました。また、いわき市保健福祉部に對し中地域ケア会議で「医療介護いわき学校」（仮称）展開について議論することを提案しています。

福祉介護保険委員会のご出席の先生におかれましては、この提案についてサポートいただきますようお願いいたします。

いわき市医師会からの開催案

（いわき市医師会理事会確認事項・平成28年5月10日）

- 1 「医療介護いわき学校」は、いわき市保健福祉部・いわき市医師会が協力して進めていく。具体的には在宅医療多職種連携推進会議で検討する。
- 2 いわき市は広域であるため、在宅医療出前講座と同様に各支所単位で開催することとし、「何々塾」などの名称で地域の実情に応じて開催する。その運営は中地域ケア会議で担当する。できれば2～8か月に1回など定期的に開催する方向で検討するが、実情に応じて回数を減らすこと、開催場所を増やすことなどは差し支えないものとする。
- 3 市民講座の内容は、中地域ケア会議ごとに検討し決定する。在宅医療出前講座はそのうちの1回としてカウントすることが出来る。
- 4 住民向けの市民講座から開始していくが、地域医療にかかわる専門職のリーダーづくり・各職種に対する地域医療実習などについては引き続き検討する。



内郷で！

中地域会議8/2に開催
医療介護塾の開催を協議

勿来で！

中地域会議8/18に開催
医療介護フェア開催を協議

常磐で！

中地域会議9/1に開催
医療介護学校開催を協議

小川で！

引き続き、月に2回
小川寺子屋を開催中！



① 中地域ケア会議及び各地域における主な動き・取組み

イ)各地域での認知症に関する取組み



小名浜では…

- ① 2回目の徘徊模擬訓練の実施
- ②徘徊に関する東地区防犯協会泉支部との協定締結も！
- ③大型商業施設での認知症カフェ開設を目指して



内郷では…

- ①保健所での認知症カフェ開設を目指して



四倉では…

- ①小名浜に続き、本市2か所目の認知症声かけ訓練の実施に向けて



勿来では…

- ①認知症に関する普及啓発を目的に、認知症に関する講演会の開催を目指して



4 議 事

(1) 報告

①中地域ケア会議

② 3つの部会

③総合事業

- (2) 集いの場について
- (3) 情報発信～共有・見える化について
- (4) その他



① 生活安全(認知症)部会



第1回 6/27 18:30～

【会議内容】

- ①認知症初期集中支援の仕組みづくり
- ②認知症サポーターの活動づくり
- ③オレンジカフェ以和貴について

第2回 8/24 15時～

【会議内容】

- ①認知症初期集中支援の仕組みづくり
- ②オレンジカフェ以和貴について
- ③認知症あんしんガイドVer. 2原案
- ④認知症サポーター活動支援の仕組み
- ⑤認知症に関する事業一覧

【これまでの成果と今後の取り組み内容】

- ・ 認知症の方とその家族に早期に関わり支援する、認知症初期集中支援チームの活動が始まった。今後、関係機関の協力体制を構築し、活動を拡大に向けた協議を重ねる。
- ・ 認知症の方とその家族を地域で支える体制づくりのため、認知症に関する知識の普及啓発や、地域で支える人材、社会資源の整理と拡充、地域づくりを検討していく。



② 医療と介護連携部会



第1回 7/27 15時～

【会議内容】

- ① 地域の医療介護資源の把握
- ② 情報共有様式
- ③ 今年度の検討事項とスケジュール
- ④ 「在宅医療推進のための多職種研修会」

【これまでの成果と今後の取組み内容】

○ 医療機関や介護事業所が「対応できる在宅医療」の項目をリスト化

- ・掲載項目や各機関への照会様式、リストの作成内容について検討
- ・今後、各機関への照会を行い、年度内の公表に向けて進めていく。

○ 各情報共有様式を作成

- ・これまで検討してきた情報共有様式について確認
- ・今後、関係団体との協議を経て、年度内の公表に向けて進めていく。
- ・なお、様式のうち「入院・入所時」「退院・退所時」シートについては、今年度策定予定の「退院調整ルール」の中で検討し、策定していく。

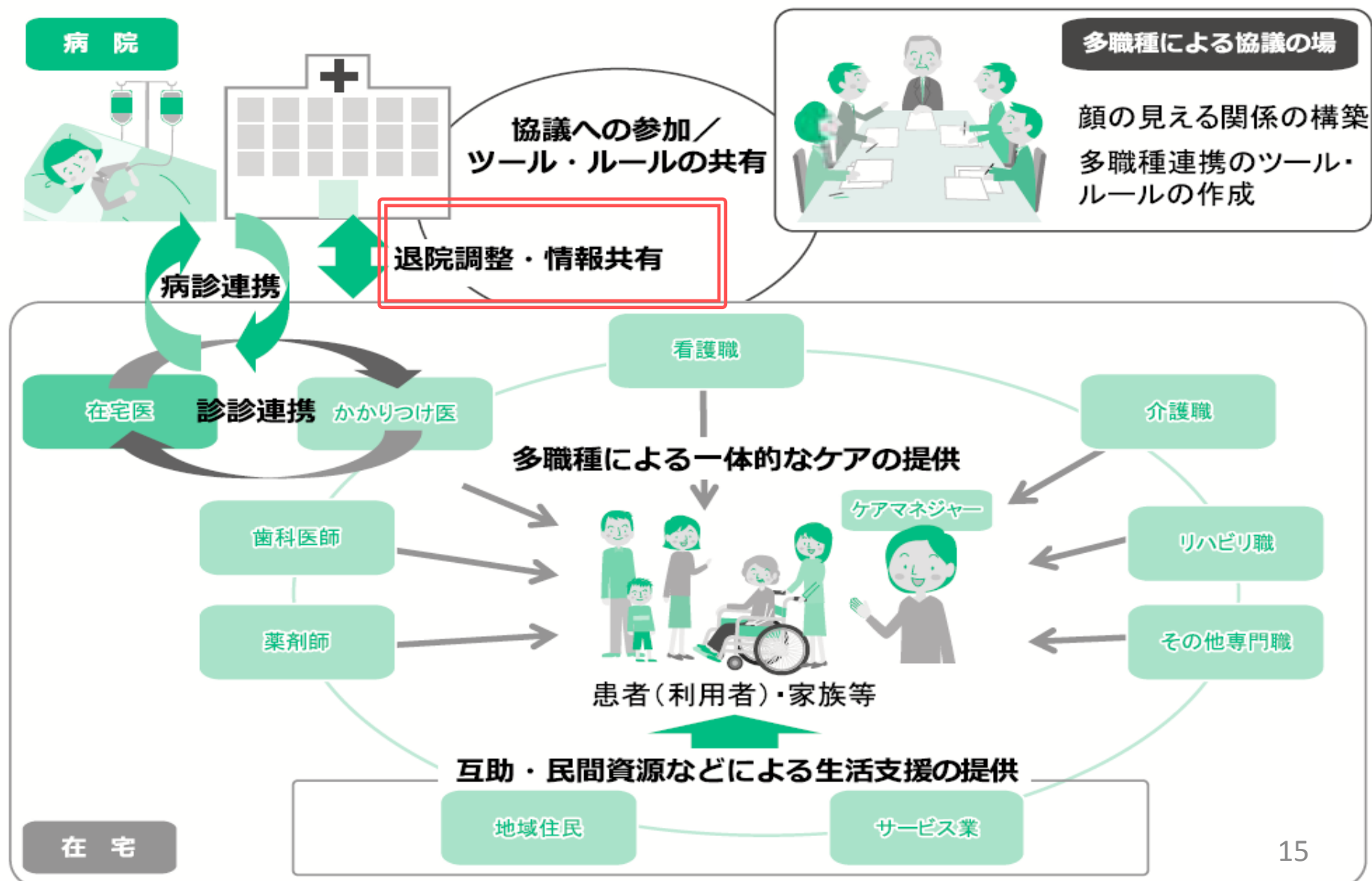
○ 在宅医療推進のための多職種研修会の実施

- ・いわき市医師会と本市の主催で7月17日に開催
- ・医療と介護関係者56名の受講があり、多くの受講者から「顔の見える関係が構築でき有意義だった。」
「参加者や職種を広げ、継続した開催をしてほしい」との意見がありました。





図表 医療機関からの在宅復帰パターンを例とした地域における連携（イメージ）





③ 健康と生きがいづくり部会



第1回 6/22 14時～

【会議内容】

- ①地域包括ケアシステムの全体像
- ②短期集中予防サービス
- ③住民主体の介護予防活動支援

作業部会① 7/5 15時～

【会議内容】

- ①短期集中プログラムに係るアセスメント
- ②評価指標

作業部会② 8/3 14時

【会議内容】

- ①短期集中予防プログラムのモデル実施

【これまでの成果と今後の取組み内容】

これまで

- ・ シルリハ体操の整理とDVD作成
- ・ 短期集中予防プログラム（モデル）の具現化

これから

- ・ 住民主体の通いの場・集いの場の拡充
- ・ 短期集中予防プログラム（モデル）の実施検証と実施内容の決定

モデル
10月
開始予定



4 議 事

(1) 報告

- ① 中地域ケア会議
- ② 3つの部会

③ 各取組みの状況

- (2) 集いの場について
- (3) 情報発信～共有・見える化について
- (4) その他



シルバーリハビリ体操

予防

1 これまでの実績

(H21～H27)

- ・指導士派遣：12,477回
- ・参加者数：延168,262人
- ・指導士養成 (H23～H27)

1級：20回 37人

2級：7回 87人

3級：39回 459人

(H28. 8月末時点)

ボランティア ポイント制度

生活
支援

・登録者数：431名

(※9/9時点)

内訳① 男性：182名

女性：249名

内訳② 見守り隊：247名

シルリハ：55名

支え合い：98名

施設等：31名

認知症

認知
症

1 サポーター 15,249名

(※H28年9月現在)

2 初期集中支援チーム

・H28年6月6日発足

- ・1ケースを対応中

3 SOSネットワーク

・H28年6月20日、 要綱改定

- ・市防災メールを利用した情報配信開始。
- ・小名浜地区センと防犯協会泉支部で、行方不明高齢者に対する検索を行う協定締結。(9/7)

高齢者見守り隊

生活
支援

【H28年度新規立ち上げ】

①川前小白井 4/3 19名

②平南白土 4/16 48名

③内郷御厩三区 6/12 31名

【全体】

29か所 1,382名

住民支え合い 活動づくり

生活
支援

・H27より継続：7団体

・H28より新規：8団体 計：15団体

【取り組み例】

- ・空き教室活用し、給食も食べられるサロン (内郷)
- ・地区内の社会福法人と連携し、弁当を宅配 (常磐)
- ・民家の空き部屋を会場にした移動サロン (小川)
- ・お助け隊連絡ステッカーを作成し、全戸配布 (小名浜)



4 議 事

(1) 報告

- ① 中地域ケア会議
- ② 3つの部会

④ 総合事業

- (2) 集いの場について
- (3) 情報発信～共有・見える化について
- (4) その他

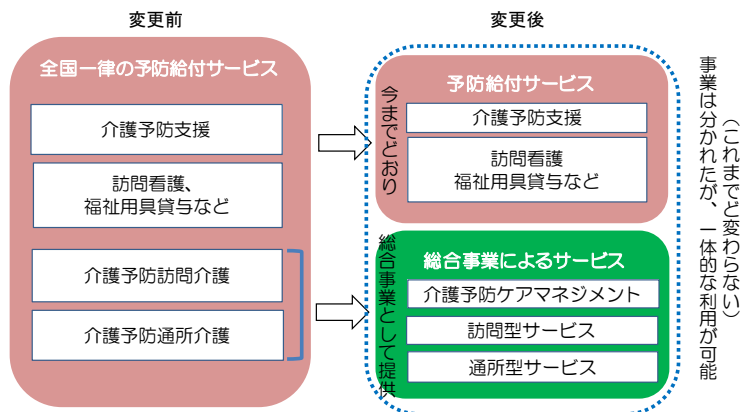
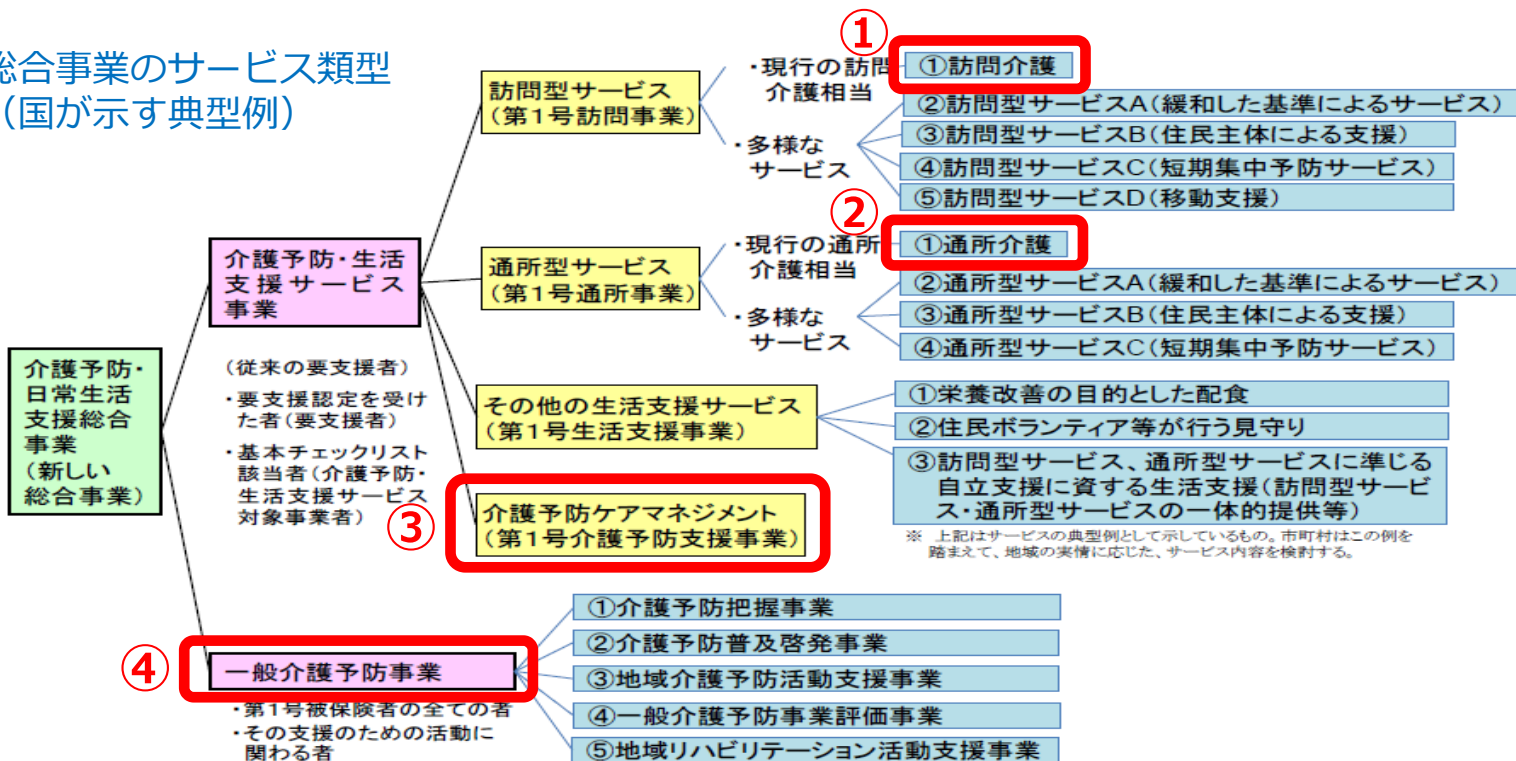


介護予防・日常生活支援総合事業の実施

○総合事業移行時期 **平成29年1月1日**

○移行当初のサービス

- ・移行当初は、下記の①～④のサービスのみで移行
- ・平成29年4月以降、多様なサービスを随時追加

総合事業のサービス類型
(国が示す典型例)



総合事業移行後の申請からサービス提供までの流れ

○判定方法

要支援認定申請に加えて、
基本チェックリストを活用。

○総合事業対象者

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

- ① 居宅要支援者
(平成29年1月以降の要支援認定者)
- ② 基本チェックリストによる事業対象者
(1号被保険者のみ活用可能)

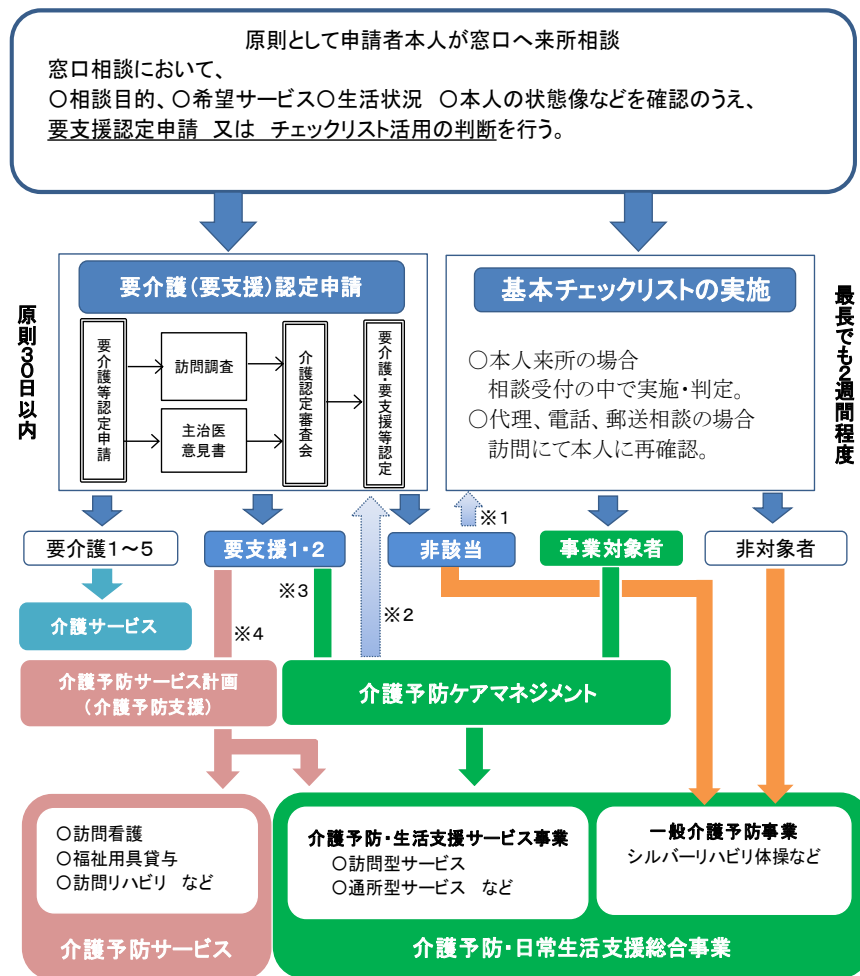
(2) 一般介護予防事業

全ての第1号被保険者 及び
その支援のための活動に関わるもの

○利用限度額

区分	限度額
事業対象者	原則 5,003単位
	市が必要と認めた場合(※) 10,473単位
要支援1	5,003単位
要支援2	10,473単位

(※) 事前申請による市の認定が必要。





予防給付と総合事業の比較

○予防給付サービスと総合事業（現行相当サービス）の違い

制度移行のソフトランディングを図るため、大きな変化を生じさせないように整理。

区分		予防給付サービス	総合事業（現行相当サービス）
ケアマネジメント		介護予防サービス計画	介護予防サービス計画又は介護予防ケアマネジメント
サービス内容	訪問サービス	訪問介護員による身体介護・生活援助	現行同様
	通所サービス	通所介護事業者の従事者によるサービス	現行同様
サービス提供者	訪問サービス	介護予防訪問介護指定事業者	現行事業所を指定
	通所サービス	介護予防通所介護指定事業者	現行事業所を指定
サービス基準		全国一律の基準	現行同様
単価		現行	現行同様
月途中の利用開始		1月分（包括報酬）	日割り計算
サービスコード		現行	新規コードの設定
給付制限の有無		あり	なし
利用者負担		介護給付の利用者負担と同じ	現行同様
限度額管理		限度額管理の対象。国保連で給付管理	現行同様
事業者への支払い		国保連経由で審査・支払い	現行同様

○保険給付同様の利用者負担額の軽減制度の実施

- ① 災害その他の特別な事情がある場合の、支給費の額の特例制度
- ② 高額介護予防サービス費相当事業
- ③ 高額医療合算介護予防サービス費相当事業



要支援認定者（既サービス利用者）の段階的移行

総合事業移行後、介護予防訪問介護・介護予防通所介護を、訪問型・通所型サービスとして提供

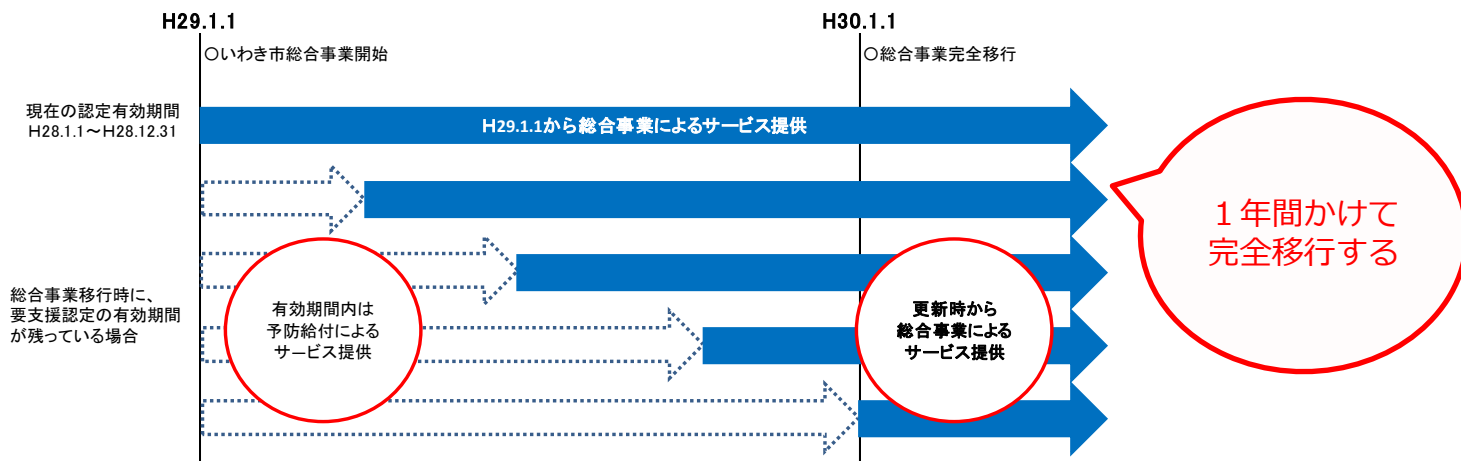


総合事業を利用する方は、事業対象者より、**要支援認定者〈既サービス利用者〉**が大多数



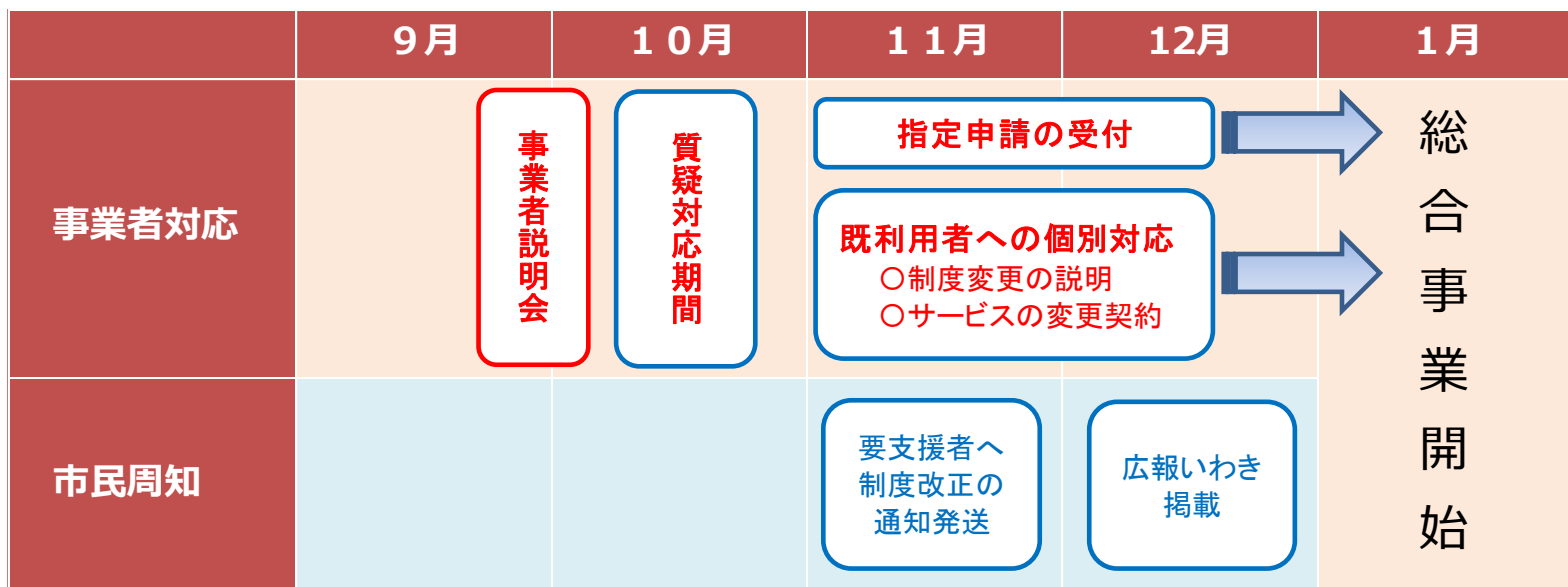
ソフトランディングを図るため段階的に移行する

対象者	取扱い
H28.12.31までに要支援認定を受け、 H29.1.1以降も認定有効期間が残っている方	その認定更新等までは、従来の予防給付（介護予防訪問介護・介護予防通所介護）サービスを提供。
H29.1.1以降、新規、変更、更新により 要支援認定を受けた方	訪問介護・通所介護を利用する場合は、総合事業の訪問型・通所型サービスを利用。





総合事業実施までのスケジュール



○事業者説明会

- (1) 9月21日(水) 小名浜公民館 会議室 18時30分～
- (2) 9月23日(金) 勿来市民会館 大ホール 18時30分～
- (3) 9月27日(火) 市文化センター 大ホール 14時～
- (4) 10月 3日(月) 総合保健福祉センター多目的ホール 18時30分～

○指定申請受付開始時期

平成28年11月から(平成28年12月9日(金)提出分まで、平成29年1月1日指定)

- (1) 平成27年3月31日までに介護予防訪問介護・介護予防通所介護の指定を受けている事業者
⇒ 指定申請は不要(平成27年4月1日付けで、みなし指定事業所とされている)
- (2) 平成27年4月1日以降に介護予防訪問介護・介護予防通所介護の指定を受けた事業者
⇒ 指定申請が必要



4 議 事

(1) 行政からの報告

- ①中地域ケア会議
- ② 3つの部会
- ③総合事業

(2) 通い・つどいの場について

(3) 情報発信～共有・見える化について

(4) その他



介護予防にも、生活支援にも「通いの場」は重要な地域の資源

介護 予防

本人の**自発的**な**参加意欲**に基づく、**継続性**のある、
効果的な**介護予防**を実施していくこと

通いの場

生活 支援

地域における**自立**した**日常生活**を実現するために、
地域の**多様な主体**による**多様な生活支援**を地域の中で確保し、
介護専門職は身体介護を中心とした**中重度支援**に**重点化**を進める。



地域生活は専門職だけでは支えられない 一ご近所からボランティア、専門職までみんなで支える

現状の課題

友人・隣人との交流



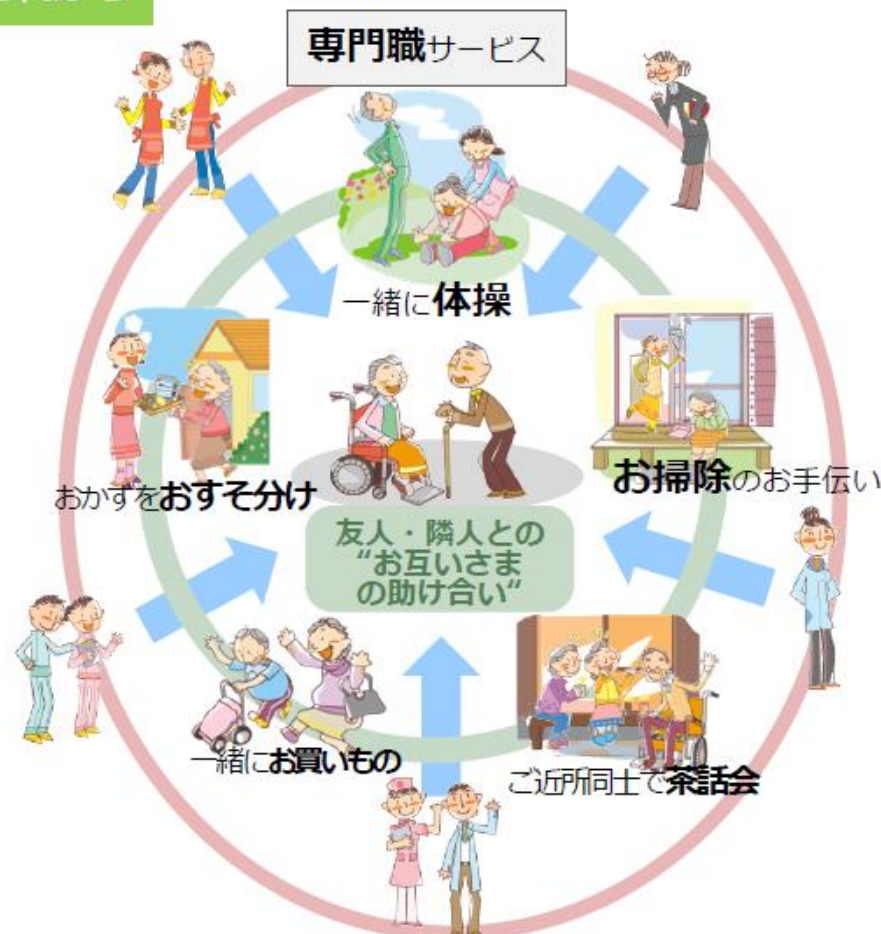
支援や介護が必要になると、
友人・隣人との関係は希薄になり、
支援を受ける一方向の人間関係に変化



これまでの地域との
つながりは疎遠に？

これから

専門職サービス



“お互いさまの助け合い”の輪を広げていくことで、支援や介護が必要になっても、地域社会の中から切り離されず、なじみの関係を継続できる



視点1

健康の要素

社会参画 &
生きがい



食と栄養



運 動



フレイルの悪循環

外出などがおっくう

活動性の低下

食欲の低下・粗食

低栄養

体力・筋力の低下

サルコペニア（筋力減少症）



目指す“通い・つどいの場”に向けた事例紹介 平馬目体操クラブ

Before

6月24日の状況 参加者:4名



上:②薬の飲みあわせから、薬を飲むタイミングなど普段から知っていた「お薬の話」の数々に興味深々

右③→
質問応答のコーナーでは、処方箋持参の方もいらして、即席のお薬診断にも。



After

8月28日の状況

参加者:17名 シルリハだけの8月に比べ、参加者が約4倍！



上:①いつものシルリハ体操の前に、薬剤師さんによる「お薬の話」



上:④「お薬の話」の後に、みんなで一緒にシルリハ体操！



イメージ



**協働と共創による、いわきらしい
地域包括ケアシステムに向け、
各団体・各職種の皆様のご協力に
ついて、ご協議をお願いします。**



参考 関係機関における地域包括ケアに関する取組み・検討状況

団体名	取組み内容
県理学療法士会 いわき支部	・ 地域包括ケアを推進するため、各地区に担当者を置いた。 ・ 地域ケア会議等に参加も可能。
県作業療法士会 いわき支部	・ 地域包括ケア担当を市内に10名程度配置。 ・ 通常業務との関係もあるが、調整がつけば認知症初期集中支援チームのチーム員として協力することも可能。
市薬剤師会	・ 認知症初期集中支援チームへの薬剤師の参加を提案。服薬、残薬管理などの役割が果たせる。 ・ まず、市として各専門職に求める役割を整理してはどうか。
市医師会	・ 7月16日在宅医療推進多職種研修会を開催 ・ 各地区で在宅医療出前講座を開催 ・ 医師会において、認知症サポート医研修の受講を促進し、平成27年に6名が受講。また、作業部会においては、認知症サポート医と認知症初期集中支援チームの関わりについて、田子医師と検討していきたいとの見解があった。
県グループホーム 連絡協議会	・ グループホーム協議会では認知症施策に積極的に協力する。 ・ 認知症カフェのスタッフとしても協力できるので、お声かけください。



4 議 事

(1) 行政からの報告

- ①中地域ケア会議
- ② 3つの部会
- ③総合事業

(2) 集いの場について

(3) 情報発信～ 共有・見える化について

(4) その他



情報発信～共有・見える化① フェイスブックによる発信



いわきの地域包括ケア “つながる・いわき”

- ・ 5月21日開始 現在まで“20”の記事を投稿
- ・ 見て下さった数が多い記事 BEST 3



第1位 1,284閲覧

 **いわきの地域包括ケア（つながる・いわき）**
作成者: 金成 聡司 [?] · 8月22日 12:30 ·

【認知症講演会2016】

今日は、認知症講演会2016のPRのため、FMいわきに生出演しました。
9月17日（土）

いわき市文化センター 大ホール

10時～12時 認知症サポーター養成講座

14時～16時 認知症講演会

を開催します。

※認知症サポーター養成講座は、今まで受講していない方が対象です。

テーマは、家族介護者の支援と食事についてです。

本日8月22日～9月9日まで、事前申込みを受け付けます。

詳しくは、市ホームページも御覧ください。

<http://www.city.iwaki.lg.jp/.../cont.../1468297483900/index.html>

#認知症 #平 #講演会 #認知症サポーター養成講座



第2位 870閲覧

 **いわきの地域包括ケア（つながる・いわき）**さんが写真4件を追加しました。
作成者: 金成 聡司 [?] · 7月13日 ·

【いわき市住民支え合いづくりモデル事業】

内郷高坂9区の協議体に参加してきました^^
会場は、内郷第一中学校です。

学校の協力により、先月から給食をいただくことができるようになりました。

始まったばかりの活動ですが、もっと多くの方に参加してもらおうと、皆さん知恵を絞っています(^-^)

内郷高坂9区の65歳以上の方であれば、参加は自由です。



第3位 734閲覧

 **いわきの地域包括ケア（つながる・いわき）**
作成者: 相川 朋生 [?] · 7月11日 ·

本日7月11日より、いよいよ「いわき市いきいきシニアボランティアポイント事業」がはじまります。

「ボランティア活動を通じ、高齢の方が生きがいをもって地域とどんとつながってもらいたい！」

そんな想いを込めた事業です。詳しくはこちらのリンクからどうぞ！...
もっと見る



つながるいわき

検索
33



情報発信～共有・見える化② 安心ノートなど各種紙媒体の発行～普及

～あなたの想いをつなぐ～
いわき安心ノート
(いわき市版エンディングノート)



いわき市
平成28年8月発行

認知症あんしんガイド
Vol. 1



いわき市

**わたしの想いを
つなぐノート**

(略称：わたしノート)

書き方の手引き

あなた自身の旅立ちのとき、あなたは大切な人に寄り添って欲しいですか？

あなたは、大切な人の旅立ちのとき、そばで看取りたいですか？

「はい」という想いをお持ちの方は、ぜひこの「ノート」を活用してみてください。きっとお役にたつと思います。





4 議 事

(1) 行政からの報告

- ①中地域ケア会議
- ② 3つの部会
- ③総合事業

(2) 集いの場について

(3) 情報発信～ 共有・見える化について

(4) その他



閉会 ありがとうございました。